

副専攻名 日本語学日本文学 [基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果

- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
- ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
- ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
- ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41977	日本の近代文学	近代文学作品の表現に注目し、「なにが」「どのように」書かれているか意識した読解ができる。	2～4	*	*		
41978	日本の現代文学	現代文学作品の表現に注目し、「なにが」「どのように」書かれているか意識した読解ができる。	2～4	*	*		
21404	古典と古典学	・日本古典文学の代表的な古典がどのように古典として認知されたかを知ることができる。 ・古典学の成果を踏まえて、新たな古典的作品がどのように創造されたかを知ることができる。	2～4	*	*	*	*
41979	古典文学研究法講義	・日本古典文学についての研究・享受の歴史を踏まえた研究法を身に付ける。 ・文学作品を「書いてあるとおりに読む」ための基本的な方法を獲得する。	2～4	*			
41980	近代文学研究法講義	・近代文学を解釈するための研究法に触れ、それらの知見を活用して自らの解釈を導き出せる。	2～4			*	
41981	現代文学研究法講義	・現代文学を解釈するための研究法に触れ、その知見を活用して自らの解釈を導き出せる。また研究法それ自体についての知見を深める。	2～4			*	*
21403	日本語学概説A	・日本語を客観的にとらえるための基本的な考え方と方法論を身に付ける。 ・日本語の諸特徴に関する基礎知識を獲得する。	2～4	*	*		
41972	日本語学概説B	・日本語を客観的にとらえるための基本的な考え方と方法論を身に付ける。 ・日本語の諸特徴に関する基礎知識を獲得する。	2～4	*	*		
41983	古典文学特殊講義	・日本文学史を縦に貫流する問題や同時代の広がりの中でジャンルを横断して看取される共通点を取り上げて追跡・追求することができる。	2～4			*	
41984	近代文学特殊講義	・近代文学と社会の関係に注意を巡らし、論理的読解ができる。言葉の細部にまで注意を巡らし、注釈的読解ができる。	2～4	*			
41985	現代文学特殊講義	・現代文学と社会の関係に注意を巡らし、論理的読解ができる。言葉の細部にまで注意を巡らし、注釈的読解ができる。社会の問題について知見を深めることができる。	2～4	*	*		
41986	比較古典文学講義	・日本の古典文学と諸国の文学との関連を意識し、その比較を通して古典文学に関する視野を広める。	2～4			*	

副専攻名 **日本語学日本文学 [基礎]**

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)
 日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

- 副専攻の学習成果**
- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
 - ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
 - ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
 - ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41987	比較近代文学講義	・日本の近代文学と諸国の文学との関連を意識し、その比較を通して近代文学に関する視野を広める。	2～4			*	
41988	比較現代文学講義	・日本の現代文学と諸国の文学との関連を意識し、その比較を通して現代文学に関する視野を広める。	2～4			*	*
41982	文芸思潮講義	・広く日本近現代文学の文芸思潮に触れ、見識を深める。	2～4			*	
41975	日本語学講義1	日本語の構造、または日本語の構造に関する歴史的变化に関する理解を、個別の問題の探求を通して深める。	2～4			*	
41976	日本語学講義2	日本語の構造、または日本語の構造に関する歴史的变化に関する理解を、個別の問題の探求を通して深める。	2～4				*
41973	日本語の歴史1	言語の歴史を取り扱う方法論と、日本語の歴史に関する基礎的な知識を身に付ける。	2～4			*	
41974	日本語の歴史2	日本語の歴史に関する諸問題について深く理解する。	2～4				*
41955	古典文学演習A	・古典文学作品を「書いてあるとおりに読む」ために必要な基本作業を実践し、自分の考えをまとめ発表する力をつける。	2～4	*	*		
41956	古典文学演習B	・古典文学作品を「書いてあるとおりに読む」ために必要な基本作業を実践し、自分の考えをまとめ発表する力をつける。	2～4			*	*
41990	古典文学演習C	・古典文学作品を「書いてあるとおりに読む」ために必要な基本作業を実践し、自分の考えをまとめ発表する力をつける。	2～4	*	*		
41957	近代文学演習A	・近代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4	*	*		
41958	近代文学演習B	・近代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4			*	*
41991	近代文学演習C	・近代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4	*	*		

副専攻名 日本語学日本文学 [基礎]

副専攻のCP(カリキュラム編成方針)

日本の古典文学及び近現代の文学と古代から現代に至る日本語に関して、その幅広い諸相について理解を深め、学問的な方法で研究するための基礎を学びます。授業科目は分野・時代別の講義科目と学生主体の演習・講読科目から成ります。

副専攻の学習成果

- ・日本語学日本文学に対する高い関心を持つようになる。
- ・日本語学日本文学の対象についての基礎知識を獲得する。
- ・日本語学日本文学の研究方法を理解する。
- ・日本語学日本文学の研究の歴史を知る。

副専攻を構成する科目

科目番号	授業科目名	学生の学習目標	学年	Q1	Q2	Q3	Q4
41959	現代文学演習A	・現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4	*	*		
41960	現代文学演習B	・現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、わかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4			*	*
41992	現代文学演習C	・現代文学作品を題材に、先行研究を整理し、注解を施し、レジュメ等に整理し、自らの理解をわかりやすく発表できる。また、発表内容を小論文の形式で文章化できる。	2～4			*	*
41929	日本語学演習A	・個別のテーマ・文献を題材として、現代日本語の構造、あるいは日本語の歴史に関する理解を深める。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査、考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4	*	*		
41930	日本語学演習B	・個別のテーマ・文献を題材として、現代日本語の構造、あるいは日本語の歴史に関する理解を深める。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査、考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4			*	*
41989	日本語学演習C	・個別のテーマ・文献を題材として、現代日本語の構造、あるいは日本語の歴史に関する理解を深める。 ・日本語を研究してゆく上で必要な、実証的方法論について知る。 ・調査、考察の成果を的確に人に伝えるためのプレゼンテーション能力を向上する。	2～4	*			
41993	古典文学史講義	・古典文学史の代表的作品を読解し、その周辺事象との関わりを知ることができる。	2～4			*	
41994	近代文学史講義	・近代の文学史に精通し、数多くの代表的作品に接することができる。	2～4	*			
41995	現代文学史講義	・現代の文学史に精通し、数多くの代表的作品に接してよく理解することができる。	2～4			*	*